

プログラミング「面白い」 仙台県小学生大会前に体験会



リモコンカーを操作するプログラミングに親子で挑戦する参加者

県小学生プログラミング大会(河北新報社など主催)のイベントが21日、仙台市太白区の東北工大八木山キャンパスであった。小学4〜6年の児童と保護者10組約25人が参加し、3つのコースに分かれて電子工作に親しんだ。

外部のモーターやセンサーをインターネット経由で制御できるシステム「オープンイズ」を使う講座では、パソコンで操作できるリモコンカー作りに挑戦。障害物を認識して止まったり方向転換したりする動きをプログラムし、パソコン画面上に出力したりモコンで操

縦して楽しんだ。

将監中央小4年の佐藤里菜さん(9)は「意外と簡単。リモコンカーの速さを自分で変えられておもしろかった」と笑顔を見せた。東北工大技術支援センターの川村弘昭事務長は「子どものプログラミングへの関心は高まっている。県大会の作品にも挑戦してほしい」と話した。

県小学生プログラミング大会は10月13日に東北工大で開催される。最優秀賞受賞者は来年3月に東京で開催される全国大会に出場する。県大会の作品は9月16日まで応募できる。